

募集要項別紙 サイバーシステム科

募集学科

学 科 名 サイバーシステム科
修 業 年 限 4 年
募 集 人 員 1 0 名

入学方法

◇ AO 入学

- 応 募 資 格 1.高等学校を卒業した方または令和8年3月卒業見込みの方
2.高等学校卒業と同等と認められた方
- AOエントリー受付期間 前期：令和7年7月1日～令和7年8月15日
後期：令和7年8月16日～令和7年9月16日
- エントリー提出書類 AO入学エントリーシート及び志望動機記入シート（Web 提出）
- 面 接 日 前期：令和7年8月23日13：00～
後期：令和7年9月20日13：00～

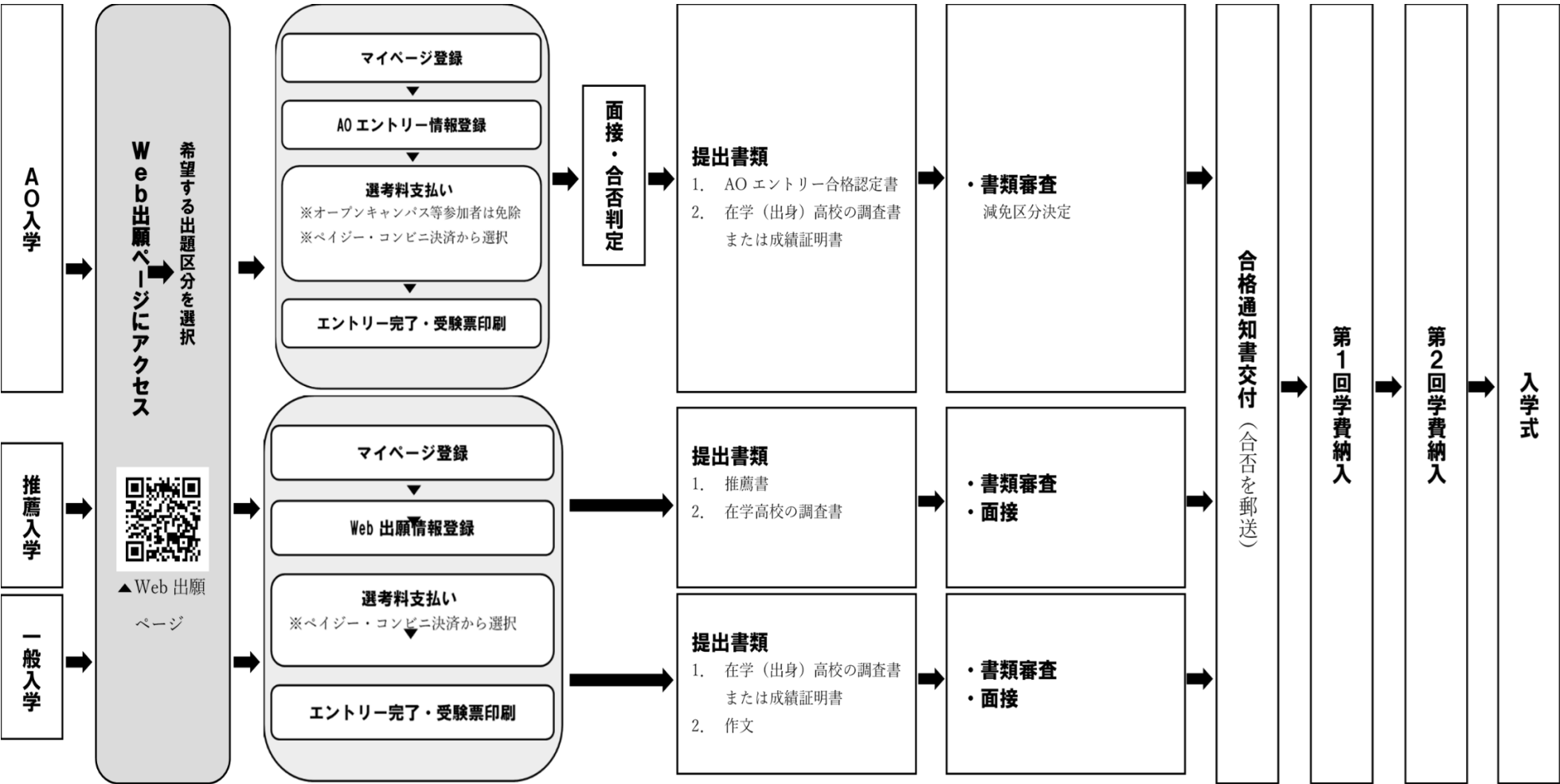
◇ 推薦入学

- 出 願 資 格 令和8年3月高校卒業見込者で評定平均値が3.0以上であり、在学高等学校長の推薦を受けた者。
- 選 考 方 法 書類審査・面接
- 出 願 期 間 令和7年10月1日～令和8年2月16日
- 面 接 日 願書受付後面接日を通知します。
- 出 願 書 類 入学願書（Web 出願）
- 提 出 書 類 ①推薦書（本校指定の用紙）
②在学高校調査書
- 選 考 料 20,000円
- 合 格 通 知 選考後1週間以内に合否を決定し、郵送で通知します。

◇ 一般入学

- 出 願 資 格 高等学校卒業（見込含む）、または、これと同等以上の学力を有すると認められる者。
- 選 考 方 法 書類審査・面接・作文（事前に課題を通知）
- 出 願 期 間 令和7年10月1日～令和8年3月23日
- 面 接 日 願書受付後選考日を通知します。
- 出 願 書 類 入学願書（Web 出願）
- 提 出 書 類 ①在学（出身）高校調査書
大学、短期大学、専門学校の場合は卒業した学校の成績証明書または履修科目証明書
大検または高認合格者の場合は成績証明書及び合格証書の写
②作文
選 考 料 20,000円
合 格 通 知 選考後1週間以内に合否を決定し、郵送で通知します。

出願から入学まで



Web 出願方法

スマートフォンまたはパソコン、タブレットで上記 QR コードを読み取るか、以下の URL にアクセスして希望する出題区分を選んでください。

・Web 出願ページ URL : https://www.ycb.ac.jp/web_entry/

選考料のお支払い

Web 出願の際ページーもしくはコンビニ払いを選択しお支払いください。

入学手続

合格通知を受けた者は、通知書に指定された期日（到着後 1 週間程度）までに本校指定の振込用紙を用いて、最寄りの銀行を通じ第 1 回学費を納入してください。

※ 4 月以降合格通知を受けた者は、第 1 回及び第 2 回納入分の学費を入学式前日までに納入して下さい。

入試日

	試 験 日	受付締切（必着）
第 1 回	1 0 月 2 5 日（土）	1 0 月 2 0 日（月）
第 2 回	1 1 月 2 9 日（土）	1 1 月 2 4 日（月）
第 3 回	1 2 月 1 3 日（土）	1 2 月 8 日（月）
第 4 回	1 月 3 1 日（土）	1 月 2 6 日（月）
第 5 回	2 月 2 1 日（土）	2 月 1 6 日（月）
第 6 回	3 月 7 日（土）	3 月 2 日（月）
第 7 回	3 月 2 8 日（土）	3 月 2 8 日（月）
以降は入学式前日までに随時受付け、試験。		

* 希望する受験日のべ切日までに書類が揃わない場合で、試験前日までに用意できる場合は、ご連絡ください。

* 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

※令和 8 年 3 月 3 1 日までに入学辞退の意思表示をした場合は、原則として納入いただいた授業料（6 か月分）、施設充実費（1 年分）は変換いたします。

大学併修制度入試について

当学科は、開志創造大学 情報デザイン学部との併修を予定しており、当校の入試に加え、開志創造大学の入試も受けて頂く予定となっております。開志創造大学の入試概要は大学の公式サイト（<https://kaishi.ac.jp/info-d/lp/heisyu-lp/>）をご覧ください。

学費

◇ サイバーシステム科

➤ 入 学 金	180,000 円
➤ 授業料（年額）	720,000 円
➤ 施設充実費	300,000 円

納入方法

◇ サイバーシステム科

➤ 第1回（入学手続き時）入学金	180,000円
➤ 第2回（3/31までに納入）施設充実費（1年分）、授業料（6か月分）	660,000円
➤ 第3回（8/31までに納入）授業料（6か月分）	360,000円

※2年次以降の学費は原則として3月末日及び8月末日の年2回納入となります。

※教科書・教材費・検定受験料等は実費負担となります。

なお、教科書、教材費、実習・演習費及び行事費の金額は、選択したコースによって違います。

➤ 教科書・教材費	1年次	40,000円
	2年次～4年次	各年次20,000円
➤ 実習・演習費	1～4年次	各年次120,000円
➤ 行 事 費	1～3年次	各年次14,000円
	4年次	33,000円

※行事費の主な内訳は、1～3年次は学生会費等で、4年次は就職指導費や学生会及び同窓会費等です。

※上記金額は変更になる場合があります。

◇ 開志創造大学

開志創造大学情報デザイン学部※1に同時入学しますので、大学の学費が必要となります。

■1年次 280,000円※2 ■2年次 250,000円 ■3年次 250,000円 ■4年次 250,000円

※1：2026年4月、事業創造大学院大学は開志創造大学へと名称変更予定です。

※2：入学金30,000円も含まれます。

※別途、毎年学籍管理料とシステム利用料の納入が必要となります。※設置認可申請中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

特待生・奨学金等制度について

他学科と同様、条件を満たす場合様々な制度を活用して学費の負担を軽減することができます。詳しくはVカレッジ全体の募集要項の4

ページから6ページをご覧ください。

専門学校とは

V カレッジ全体の募集要項 1 1 ページをご覧ください。

大学併修制度について

専門学校入学と併せて大学に同時に入学する制度です。4 年課程の専門学校を卒業後、4 年制大学を卒業した場合、最短でも卒業に 8 年かかることとなりますが、大学併修制度を活用することで 4 年間で無理なく専門学校と大学を同時に卒業が目指せます。学習面では大学の理論的な学びと専門学校の実習的な学びをどちらも行うことができ、高度な即戦力人材となることができます。

履修科目一覧

◇ サイバーシステム科

科	目	内	容
命題論理		命題論理の理解を通して、理論的な議論を行う力を身につける。	
基礎数学 I ・ II		情報技術を活用していくためには数学の理解が必須である。AI ・データサイエンスの理解をスムーズにするための土台作りとして基礎数学から学ぶ。	
Linux 入門 A ・ B		クラウドサービスや業務用インフラシステムの OS としてメジャーな Linux について基本的なコマンドからネットワークの構築方法について学ぶ。	
コンピュータアーキテクチャ		現代社会の至る所で活躍しているコンピュータの動作原理を紐解き、基礎的な知識と応用的な技術を学ぶ。	
基礎造形表現		デッサンを通して空間認識能力などを養い、情報デザインなどの視覚的創作活動の基礎を身につける。	
プログラミング基礎		C 言語を用いてプログラミングの基本的な概念と技術を学修する。	
データサイエンス入門		データサイエンスの基礎的な概念と手法について学ぶ。	
生成 AI 活用		文章を生成するためのプロンプトエンジニアリングの基本スキルを学び、AI の創造的な側面を初めて体験する。そこから AI の概念について学ぶ。	
プロジェクトマネジメント入門		プロジェクトマネジメントの基礎について、効果的なプロジェクトマネージャーに求められる知識とスキルを習得する。	
経営学基礎		事業を実践する場かつ道具となる組織を組成し運用していくための技法や、事業実践における強みを作り出していくための技法、それらを統合する事業計画の考え方や、事業と社会の持続可能性など今日の変わりゆく社会からの要請に応じて、事業の場で重視することが求められる要点などを学ぶ。	
会計簿記		まず様々な企業の経済的取引がどのように記録されるのかを学んだうえで、その記録に基づいてどのように損益計算書と貸借対照表が作成されるのか、そして、さらにその損益計算書と貸借対照表の情報に基づいてキャッシュフロー計算書という財務諸表がどのように作成されるのかを学ぶ。	
IT 活用実習 I		現代社会において情報がいかに大切かを学んだ後、Excel を使用して情報を効率よく扱う手法を学ぶ。	
ExcelVBA		Excel で作成されたデータをより効率的に処理するために ExcelVBA 言語を使って様々なフォーマット作成を行うための手法を学ぶ。	
AI 演習 1		人工知能について、過去から現在までブームの去就が繰り返されてきた。その歴史について学び、機械学習に必要なプログラミング技術を身につける。機械学習モデルの作成を目指す。	
プログラミング演習 1 ・ 2		システム開発に携わるにあたって論理的思考ができることは必須である。C # をもちいてプログラムを作成するためのセオリーを身につける。	
ビジネス実務		就職活動を行うにあたって自分自身の強みを理解する、つまり自己理解を深めていくことは大事なことである。様々なツール、グループワークなどを通し自己理解を深め自身の理想的なキャリアプランを描いていく。	